／Ｂ１１日本印刷新聞／５８１３／６面／紙面レイアウト Page 6 出力日時 2019年11月14日17時22分49秒 (1)

紙ストロー生産機披露

ミヤコシ

最高速度毎分150本

高水準、高品質アピール

㈱ミヤコシ（本社・千葉県習志野市、宮腰享社長）は10月23・24日の両日、千葉県八千代市の同社POD開発事業部クリーンルーム／デモルームで「紙ストロー生産機 内覧会」を開催した。2日間で約220人の来場者が訪れたこの内覧会では国産初となる紙ストローの量産製造機「STO−001」を披露。印刷機製造の中で培ってきた用紙搬送・加工技術をベースに、これまでの機械にはない水準で高品質な紙ストローを安定生産できるところをアピールした。

「STO−001」の稼働実演のようす

内覧会の冒頭、あいさつに立った同社の宮腰社長は「約1年前、食品包材の仕事をしているお客さまから〝紙ストローに関する問い合わせがとても増えているが、ミヤコシでは紙ストローの生産機を製造・開発する気はないか？〟という打診を頂いたのが、この機械を開発するきっかけとなった。今回披露する紙ストロー生産機は、当社がこれまで手掛けてきた分野とはジャンルが違うため、内覧会を開いても小規模なものになると予測していたが、220人もの来場者が訪れてくれたので、時代の潮流に乗れているという自信を持てた。つねづね、機械メーカーとして環境問題に対してなんらかの貢献ができないかと模索していたが、この機械が環境問題を解決する一助になれれば嬉しく思う」と、紙ストロー生産機開発の背景と狙いを表した。

宮腰社長

今回披露した「STO−001」は、最高生産速度毎分150本（6φ×200ミリのストロー生産時）、給紙リール数は3本（オプションで最大5本）、製造可能なストロー内径は6〜10φ、ストロー長は120〜225ミリ、ワンマンオペレーションが可能な仕様となっている。

生産の簡単な流れとしては、①リールスタンドから給紙、②グルーユニットで糊や滑り材を塗布、③フォーミングユニットでは、リールから給紙されて糊などが塗布された3本の紙を鉄芯に巻き付け、撚り合わせる、④カッティングユニットで、設定したストロー長さに断裁――という過程を経る。

機械および使用する資材はともに世界各国の食品衛生法に準拠している。同社で選定した資材の場合、紙ストローの耐水時間は約3時間程度となる。

また、印刷機の製造・販売でも同社の大きな特徴である、個々のユーザーからのカスタマイズ対応や、追加オプションなどにも柔軟に対応するほか、国内のメンテナンス体制も整えられている。

コスト削減ツール開発

コダック

SONORA普及加速で

コダックは、プロセスフリープレートへの移行を検討している印刷会社を支援すべく「SONORA Plate Savings Estimator」を開発した。この新しいオンラインツールを利用することで、有処理プレートから「KODAK SONORA プロセスフリープレート」へ切り替えた際に削減できるコストをシミュレーションできるようになる。

イーストマン・コダック社プリントシステムズ事業部のEvandro Matteucciバイスプレジデントは、「KODAK SONORAプロセスフリープレートは、世界中で4000社以上の印刷会社で導入されている。これらの印刷会社では、コストや時間を削減し、かつ環境への負荷も軽減している。印刷会社にとって、業務フローの部分的な変更や非効率な設備の入れ替えには、費用がかかることを我々はよく理解している。KODAK SONORAプロセスフリープレートへの移行は、コストを削減するための迅速で簡便な手法であり、持続可能性を高める一歩となる。移行を考える際にこの新しいオンラインツールを活用することで、情報不足による推計に時間を割く必要がなくなる」と述べている。

従来の刷版現像工程では、CTPで画像を露光してから、水、エネルギー、化学薬品を使用している。この現像工程にはバラツキが発生しやすく、印刷現場での作業効率やコストにも影響を与えていた。そこで「SONORA Plate Savings Estimator」を使用すると、SONORAプレートを導入した場合のこれらの条件を踏まえたコスト削減額を、各社ごとにカスタマイズして見積もることができる。操作は簡素化されており、プレートの使用量、使用中の有処理プレートの種類、プレート価格、事業所の所在地などの情報を入力すると瞬時に削減できるコストの合計額を見積もり、現地通貨で表示される。

印刷インキ需給実績

令和元年8月

（単位：トン、%、百万円）

項目／品目	生産量				出荷量				出荷額				在庫量		
	平成30年8月	8月	前月比	前年比	平成30年8月	8月	前月比	前年比	平成30年8月	8月	前月比	前年比	8月	前月比	前年比
印刷インキ合計	26,063	23,031	80.6	88.4	30,227	27,539	87.4	91.1	23,210	21,521	88.0	92.7	14,740	92.3	98.1
平版インキ	7,214	5,974	78.7	82.8	8,398	7,427	87.8	88.4	5,238	4,785	90.4	91.4	5,389	89.2	89.8
樹脂凸版インキ	1,713	1,553	74.8	90.7	1,894	1,738	85.0	91.8	1,426	1,305	87.0	91.5	1,252	93.3	106.0
金属印刷インキ	856	794	77.9	92.8	1,061	995	88.9	93.8	944	870	85.0	92.2	509	94.3	94.4
グラビアインキ	10,256	9,273	81.8	90.4	12,652	11,822	87.3	93.4	6,761	6,308	87.0	93.3	4,183	91.9	113.9
その他のインキ	3,286	3,093	81.9	94.1	3,334	3,187	84.6	95.6	7,369	7,044	87.6	95.6	2,232	98.8	100.9
新聞インキ	2,738	2,344	84.8	85.6	2,888	2,370	91.7	82.1	1,472	1,208	90.9	82.1	1,175	94.9	83.0
印刷インキ用ワニス	6,639	6,220	82.3	93.7	2,292	2,021	85.2	88.2	775	675	82.2	87.1	2,702	100.8	104.8

（化学工業統計月報より）

SCREEN GA

乾燥性能の強化図る

Truepress Jet520HD AD

新たなマーケット切り拓く

「Truepress Jet520HD AD」

㈱SCREENグラフィックソリューションズは（SCREEN GA）、ロール式高速フルカラーインクジェット印刷機「Truepress Jet520HDシリーズ」の新たなラインアップとして、乾燥性能を強化した「Truepress Jet520HD AD」の販売を、全世界に向けて開始した。

インターネットの登場を機に、急速に多様化する情報メディア。印刷産業においては、デジタル印刷技術を活用し、印刷物に多品種・小ロット・パーソナライズなどの付加価値を生み出すことが求められている。

近年では、インクジェット印刷技術の進化にともない、オフセット印刷に匹敵する印刷品質と高生産性を両立することが可能になっている一方で、印刷物の画像にさらなる質感や、ボリューム感を求める顧客から、より高い生産性を求める声が高まっている。

「Truepress Jet520HDシリーズ」は、2015年の発売以来、「Truepress Jet520HD」「Truepress Jet520HD+」の2モデルを市場に投入した。

最大解像度1200dpiの高精細印刷や、オフセットコート紙に直接印刷可能な独自開発インク「Truepress ink SC（SCインク）」の搭載、NIRドライヤーオプションの設定などで、新たな印刷ビジネス領域を開拓・牽引してきた。

このほど、コート紙への印刷において高濃度かつ高生産性を必要とする顧客向けモデルとして、乾燥性能を強化したユニットを搭載した「Truepress Jet520HD AD」を発売。「Truepress Jet520HDシリーズ」の新たなラインアップとして、インクジェット印刷の対応領域を拡大することになった。

これまで培ってきた高速・高品質を実現するインクジェット印刷の技術と、生産ラインの自動化や顧客の課題解決を実現するソリューションの提供により、新たな印刷マーケットを切り開いていくとともに、印刷業界の発展に貢献するとしている。

「Truepress Jet520シリーズ」（OEMパートナーモデルを含む）の出荷実績が、世界累計で1500台を超え、記念の1500台目が米国のAccess Direct Mailに導入される。

世界累計で1500台突破

SCREEN GAは、顧客一人ひとりに合わせた高付加価値印刷物の需要の高まりに応えるため、長年培ってきたプリプレス技術と最新のインクジェットプリント技術を融合させた、「Truepress520」を発売。トランザクション印刷のフルカラー・オンデマンド化を牽引し、バリアブル印刷市場の拡大に貢献してきた。

充し、その優れた生産性や印刷品質などにより、

凸版印刷

AI校閲校正支援

金融業界向けアピール

凸版印刷㈱は、AI技術を活用することで、印刷物・デジタル媒体に関する業界・企業特有の表記や専門用語を学習し、企業ごとの基準に合わせて文章の校閲・校正を行う「AI校閲・校正支援システム」を開発した。全国の銀行やカード、生損保会社など金融業界向けに、サービスとして提供・販売を開始した。

これまで凸版印刷が、パンフレット・メルマガなど多種多様な印刷物や、デジタル媒体の制作を通じて培ってきた校閲・校正ノウハウをもとに開発し、実証実験の成果を踏まえて改良を加え、商品化に至ったもの。

AIを活用した自動チェック機能により、「正しい日本語」のチェックだけでなく、専門用語の間違いや制作レギュレーションの違反までを検出することで、校閲・校正に関する負荷削減とヒューマンエラーを防止。

また確認者によるチェックだけでなく、制作者が制作段階から確認者目線でチェックできる仕組みにより、初校段階からの品質向上が可能。これにより、修正指示や、制作者と確認者間のやりとり回数を削減でき、制作業務フロー全体の効率化を実現する。

大日本印刷

IoT機器を体験

渋谷に次世代型の店舗

大日本印刷㈱（DNP）は、未発売を含む最新のIoT機器（ガジェット）を実際に体験できるショールーミング店舗「boxsta（ボクスタ）」を11月28日から12月25日までの間、渋谷スクランブルスクエア（東京都渋谷区）2階POPUPスペースで運営する。

DNPはスタートアップ企業への新しいマーケティング手法を提供するために店舗を開設。来店客に対して、専門スタッフによる商品説明や新製品の体験を提供するほか、出品企業に対しては、ラトナ㈱との協業により店内のカメラとマイクで来店客の動きや声などをセンシング（計測〜数値化）し、AIで解析してマーケティングデータとしてフィードバックする。

主にスタートアップ企業が開発した、発売前のものを含む国内外のIoT機器の新商品約25点を展示し、体験できる。商品の機能を説明して、来店客の理解を得て販売につなげるとともに、来店客の反応を企業にフィードバックするマーケティング機能を担う。

新しいアイデアや技術を組み込んだ新商品を、トレーニングされた専門のスタッフが説明し、来店客に体験を提供することで、ECサイトの閲覧だけではわかりにくい商品への理解を促す。

店内のカメラとマイクを使用して、商品に対する来店客の反応を映像と音声（テキスト）データで取得。実際の店舗でのコミュニケーションを通じて得たデータをAIで分析し、マーケティングデータとして出品企業にフィードバックする。

DNPがスタートアップ企業との共創や事業創出を目的として運営しているオープンイノベーションサイトでも商品を募集。

印刷マーケティング情報誌

PRINT ZOOM

Vol.2-No.117
2019.9
定価1500円（税込）＋送料
隔月刊誌・奇数月・月末発売
購読は……
日本印刷新聞社まで

JOB FITの最適化へ
プロファイルズ 水谷壽芳氏
青木麻奈さん 小山薫堂優秀賞受賞
「印刷と私」小学生の部
わかりづらい創意工夫を明らかに
現代日本のパッケージ2019
創意工夫をハコ詰めにしたハコ大集合
2019ハコの日

技術とビジネスを結ぶ情報誌

印刷界

10月号／毎月10日発売／定価2090円（税込）

特集 アイデア商品で新市場開拓
①アイロンがいらない布用転写シール「irodo」……扶桑
②高さ180ミリ、世界一高いブロックメモ「タワーメモ」…リード工業
③メッセージを何度も書き直せる人気のカレンダー……トーダン
販促・マーケティング総合展〈夏〉2019レビュー／第3回
営業・販促部門の働き方改革、サイネージ、ターゲットメディア…山下潤一郎
ミニルポ／「Jet Press 750S」
個人向け卒業アルバムなどの新ビジネスも積極展開…ダイコロ

日本印刷新聞社の情報誌　TEL.03-3553-5681　FAX.03-3553-5684　Since1949

祝 東京都印刷工業組合 創立70周年

株式会社 ミヤコシ
代表取締役社長 宮腰 享
千葉県習志野市津田沼1−13−15 〒275−0016
TEL 〇四七（四九三）三八五四
FAX 〇四七（四九三）三〇七一

株式会社 モトヤ
代表取締役社長 古門慶造
〒五四一−〇〇八一 大阪市中央区南船場一−一−〇−二五
電話 〇六（六二一六）一九三一㈹
〒一〇四−〇〇三一 東京都中央区八丁堀四−五−一五
電話 〇三（三五一一）三八七一㈹

株式会社モリサワ
代表取締役社長 森澤彰彦
〒五五六−〇〇一二 大阪市浪速区敷津東二−六−二五
電話 〇六−六六四九−二一−五一

RICOH imagine. change.
リコージャパン株式会社
代表取締役社長執行役員 坂主智弘
東京都港区芝三−八−二 〒105−8503
芝公園ファーストビル
TEL 〇三（六八三七）八八〇〇

株式会社 ヤマトヤ商会
代表取締役 沼倉巖
本社 東京都港区虎ノ門五丁目三−三 神谷町プレイス
電話 〇三（三四三六）二四一一
東北支店 〒983-0842 仙台市宮城野区五輪二丁目一−二−六
電話 〇二二（二九六）九五五五
営業所・工場 福島・山形・秋田・青森・新潟 前橋・久喜工場
URL:http://www.yamatoya.com

新聞に情報あり

新聞にはたくさんの話題が載っています。
それは「大事な話題」や「伝えたい話題」、「元気になる話題」だったり。
そんな大切な新聞を印刷しお届けする会社です。
media center 株式会社きかんし
http://www.kikanshi.co.jp/
〒135-0053 東京都江東区辰巳2-8-21
TEL 03-5534-1234　FAX 03-5534-1235

東京都印刷工業組合
「廃紙の共同一括委託処理システム」協力収集業者
製紙原料問屋 PS板 廃インク 樹脂原料
株式会社 ヤマシン
相談役 林 新一
代表取締役社長 佐藤賢司
【川口営業所】〒334-0074 埼玉県川口市江戸3-4-5
TEL.048-284-6768　FAX.048-282-8880
【本社】〒123-0862 東京都足立区皿沼1-11-15
TEL.03-3854-4064　FAX.03-3854-5912
http://www.yamashin-net.co.jp

㈱きかんし 制作部 SUPER DIGITORIAL/EX V12.0